



立志

令和6年7月16日(火)発行
学校便り第8号
南城市立玉城中学校
文責 校長

学校教育目標：「自ら学び自ら考え」「心豊かに実践する」「たくましい生徒」の育成

平和学習

6月28日に3学年は平和学習として糸満市のひめゆり平和資料館の見学を行いました。資料館を見学した生徒からは「多くの人が平和の尊さを知って欲しい」「私たちにできることは戦争のことをより多くの人に伝えること、相手の立場に立ってしっかりと物事を考えること、もっと社会の動きに関心をもつことだと思う」等の感想が寄せられ、平和の大切さを考える良い機会となりました。



3学年親子作業

7月7日に3学年の親子作業を行いました。校舎周辺の草刈り作業と校舎内階段の汚れ落としを頑張りました。お陰様で学校がきれいになりました。参加していただいた保護者の皆様ありがとうございました。学校では、子ども達のよりよい学習の環境づくりに引き続き努めてまいります。次回は9月29日(日)に2学年の親子作業を予定しております。期日が近づきましたら、あらためてご案内いたしますのでご参加よろしくご願ひ申し上げます。



助産師講話～命の授業～

7月9日に沖縄県助産師会会長の川満さんを講師に迎え「かけがえのない命」と題して3学年で命の授業を行いました。思春期におこる心身の変化と若年妊娠の現状とリスク等について丁寧にご講話いただきました。生徒からは「毎年人工妊娠中絶で亡くなる赤ちゃんが20万人もいることにとても驚きました」「多くの赤ちゃんが毎年死んでいるのを知って悲しい気持ちになりました」「子供を産み育てることを甘く見ていたけどとても大変だということがわかりました」「自分がこれまで育つのに親はとても苦労してたのだとわかりました」「子供は親に守られていることがわかりました」など様々な感想が寄せられ、命の大切さや親のありがたさ等についてそれぞれ考えることができました。



三者面談に向けて

文部科学省が作成した家庭教育手帳より内容の一部を掲載します。

○ダメなところを責めるより、良いところを増やしていこう。

子どもに大切なのは、自信と、自分を大切にできる力です。それは植物の根のようなもので、深く広く張るほど大きな実をもたらします。表面的なことにとらわれることなく、その子が大きく育つことを信じて心に豊かな水や栄養を与えましょう。

そして、その水や栄養となるのが、子どもの良いところを見だし、ほめることです。叱るべきときは叱り、ほめるべき時はちゃんとほめる。一つ叱ったら三つほめるくらいのバランスを心がけましょう。ほめられることで子どもは喜びを感じ、自信や自尊心を育てていくのです。

○夢をもつと人は強くなる。

今の子どもは冷めていて、将来の夢や希望をもたず、難しい目標はチャレンジする前にあきらめてしまうと言われていています。しかし、子どもは子どもなりに夢や希望をもっています。どんなに小さく、どんなにへんに思えるものでも、その夢や希望に耳を傾けましょう。

また、自分の経験や、長い間にわたって苦労して夢を実現した人々の生き方などを折にふれて話しましょう。そして人生の目標は汗を流し、失敗を重ねながら達成していくものだと、励まし、あたたかく見守っていきましょう。親は子どもの応援団です。

子供の幸せを願わない親はいません。「子供の幸せのために家庭でどう取り組めばいいのか」はすべての親の悩みです。保護者の悩みを学校も一緒に共有できればと思います。7月25日(木)から三者面談が始まります。子供の幸せの実現のために、学校と家庭が協力し有意義な話し合いができればと思います。

お陰様で1学期も今週で終了します。皆様の本校教育活動へのご理解とご協力に感謝申し上げます。夏休み期間中はお子様が事件や事故に巻き込まれないよう、ご家庭での指導、見守りをお願いします。2学期の始業式は8月29日(木)となります。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。